

親子活動「秋の森ざんまい」を通じた
子育て世代へのネイチャーゲーム紹介

記入日：2022 年 10月24日
くりこま高原シェアリングネイチャーの会 塚原俊也（名前）

1. はじめに

秋の栗駒山の紅葉を満喫するための親子宿泊プログラムにて、都市部の参加者が楽しみながら自然に対して五感を開き、ただ森を歩くだけでは気づかない森の美しさや面白さを発見できるようにネイチャーゲームを紹介しながらアクティビティを実施した。

2. 当日の実践内容

くりこま高原自然学校主催の親子宿泊プログラム内にてネイチャーゲームを実施して子育て世代の親御さんにネイチャーゲームを紹介した。

3. 成果と課題

- ・都市部からの参加者にとってネイチャーゲームを通じて五感を開いたり、自然を見る目を養うことができた。
- ・子どもと自然遊びをしたい親世代にネイチャーゲームを紹介することができた。
- ・四季をつうじて、ネイチャーゲームをとりいれてシェアリングネイチャーの理解者を増やし、リーダー養成講座へつなげる。

4. 本報告を参考にされる方へ

森遊びや落ち葉に埋まることなどが初めての参加者もいるので、不安や恐怖心がないように服装でしっかり体を守ったり、楽しいカワウソの活動などから初めて不安がないように活動を導入してくといいと思いました。

5. 活動写真



6. プログラム ※地域実践等用

時間	活動名	活動ごとのねらいと内容	ねらいを達成するための工夫、言葉がけなど
9:30 10:00 16:00	集合 ネイチャーゲーム体験 カモフラージュ 葉っぱじゃんけん 大地の窓 ブッシュクラフト体験 解散	ネイチャーゲームで五感を開いてから、ブッシュクラフト体験を行うことで、ただの技術講習にせず、自分と森の関係性を築いてから自然の中で過ごす楽しさを親子でシェアしながら1日を過ごす。 保護者からの感想 普段どうやって自然の中で遊べばいいか迷う時があるが、ネイチャーゲームを体験して、身近な自然や道具で遊んだり、子どもに自然を見る面白い視点を紹介できることを知った。	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント後も道具がなくてもできる葉っぱ系のアクティビティや身近な小物や道具で始めやすいカモフラージュを選び、親子で実践してもらえるように紹介した。 ・子どもにもわかりやすいカモフラージュのルールへの伝え方、絵本で振り返り ・できるだけ多様性のある葉っぱの形や色に気付けるよう声掛け ・レインウェアなどをしっかり装着することで首元などを保護する。 ・自然界は同じように見えるが多様性に満ちていること。葉っぱをしゃがんで下から見たりして視点を変えるといままで見えなかったことや気づかなかったことを発見できると伝えた。アクティビティはできたかどうかより、楽しい雰囲気に参加者一人一人の個性や感性を尊重しあえるようなわからあいや振り返りの内容や言葉がけを心掛けた。 <p>大地の窓は、特に大人の方に実際にやってみることで頭で考えた想像の体験と直接体験で感じることの違いや重要性を伝えた。</p>